

第65 ハヶ岳（西岳）

2016年、新年明けて三日目。企業の正月休みも本日最終日のところが多いのではと思い、日帰り登山を考える。今日はユーザーラッシュの渋滞を考慮して、電車で行ける雪のある山を探す。ハヶ岳の西南端西岳に決定する。

1月3日(日)

薄暗い中我が家を出発。6時06分発の電車に乗り、八王子で各駅電車松本行きに乗り換える。この電車は何度か利用しているが、八王子から直通で松本まで行けるのは大変便利である。もちろん特急あずさを使えばいいのだが、急ぎでない時は各駅電車であまり向かうのも楽しみの一つである。お財布にもやさしいし…そして、電車の中はほぼ睡眠時間。

信濃境に近づくとつれ夫が急に言い出す。「駅にタクシーっているの？」今回は駅からタクシーで登山口へ向かう予定。「え？普通は駅前に停車しているでしょ？」と疑わない私に「あまいね～、地方に行くとタクシーいないよ」…と返答が帰ってくる。夫のスマホで調べると駅の目の前にタクシー会社があることが確認。よし！！問題なし！！



9時6分 信濃境駅到着

小さいロータリーがあるが客待ちしているタクシーはいない。調べた駅前のタクシー会社は人影も無い。嫌な予感…。看板に記載されている電話番号にかけるもつながらず。駅員に聞くと「(家族経営のタクシー会社らしい)息子さんが体調を崩し、今は営業していないよ」と言われる。結局タクシーは呼ぶことになる。

次の駅から来るとのこと、信濃境駅で待つことに。手持ち無沙汰なのでカメラを取り出し駅の風景をパシャッ。

間もなくしてタクシー到着。西岳登山口となる富士見高原ゴルフ場の駐車場までお願いする。途中富士見高原スキー場を通過、タクシーの運転手は「今年は雪が少なく、スキー場もやっとオープンしたが全面滑走は難しい状況だよ」とボヤク。

スキー場の両幅は既に地肌が見えている…。

(ポイント1)

現在は信濃境駅に待機しているタクシーはないため、登山口(富士見高原ゴルフ場)へ向かうには小淵沢駅(特急電車も停車する)からタクシーで向かうのが便利のようである。事前に調べてから行かれることをお勧め。

9時40分 駐車場到着

トランクからザックを取り出し運転手にお礼。走り去るタクシーを見送り…。「！！」カメラがない事に気づく。自分の不注意のせいではあるものの、がっくりする。ぼんやりした記憶からタクシーにではなくタクシーを待っているときに駅の待合室に置き忘れたことを思い出す。スマホで駅の連絡先を探す…がどこ

を調べても駅の電話番号は表示されておらず、「104」に電話。現在 JR 各駅の個別番号案内はなく JR 東日本の落とし物センターの電話番号を案内される。やっと所在が確認できたのが 10 時 10 分。待合所にしっかり置き忘れていた。みつかってよかった～。

今日の 16 時 30 分までなら信濃境駅で受け取れることが判明。というわけで、急いで西岳を目指すことに。げんなりしていた気持ちもカメラが見つかり再び晴れやかに。気落ちを引き締めて行きましょう！！

さて、カメラはないが今回はビデオカメラを持参。最近のビデオカメラは写真撮影の機能もあり今回はこのビデオカメラにとってもお世話になる。感謝感謝。

10 時 00 分 登山道入り口看板通過

舗装された道を歩いた後しばらく樹林帯を歩く。今回も登山者が殆どいない静かな登山となりそうだ。

10 時 30 分 不動清水到着



周囲にベンチやお手洗いが設置。

日当たりも良く、休憩場所としてはちょうどよい。不動清水はこの時点でも水が流れている。真冬には凍っているのではあろうか？

(ポイント2)

不動清水…江戸時代に八ヶ岳信仰があり、不動明王を奉ったところで、清水が湧きでた様から「不動清水」と名が付いたそうである。古くは「長命水」「御手洗場」とも呼ばれていた。(富士見町ホームページ参照)

ここから盃流しを経て編笠山方面と西岳方面に向かうコースに分かれる。標識があるので間違えることはない。

(ポイント3)

盃流し…平安時代に一枚岩に盃を流し、流れる間に句を読む貴族の遊びがあった。その一枚岩に似ていることから『盃流し』の名が付いたそうである。八ヶ岳からの清流が長い年月をかけ造りだした美しい景観である。(富士見町ホームページ参照)



我々は西岳方面に向かう。最初は急登となるが、またすぐにゆるやかな登りになる。何度か林道を横切る。途中から残雪も現れる。念のため軽アイゼンは持参しているが、ステッキがあれば装着しなくても歩ける程度である。凍結している箇所もあるので下山時は注意が必要。

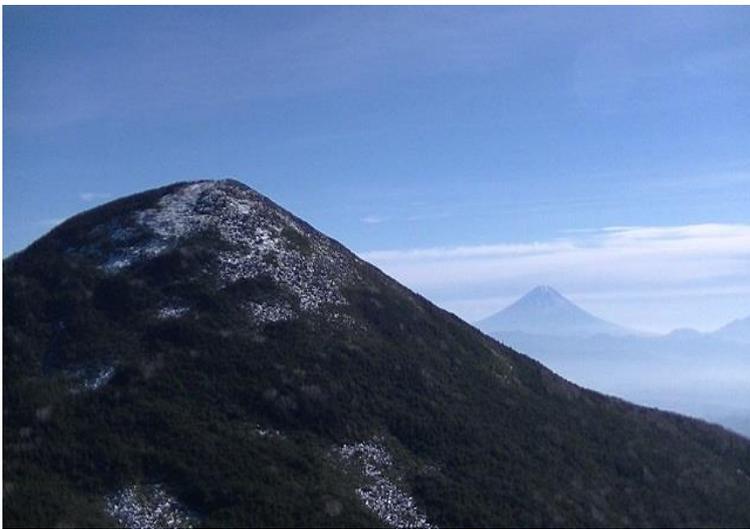


山頂に近づくとつれ斜面も急になる。しばらく急登を歩くと広いガレ場となり展望が開ける。編笠岳、富士山が顔を出す。ここまで来れば西岳山頂ももう少し。ガレ場の斜面を登り再び樹林帯を登りつめれば西岳山頂である。

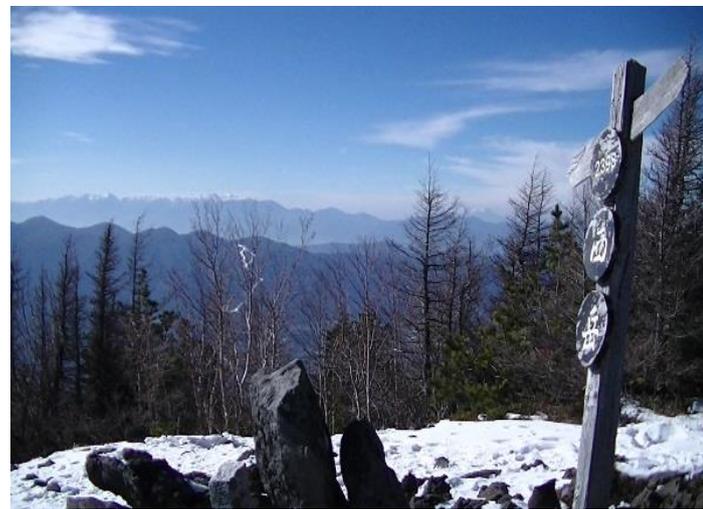
(←山頂直下のガレ場)

12時40分 標高2,398m 西岳山頂到着

青い空と雪をまとった八ヶ岳の山々が美しい。本日は遠くに雪をまとった雄大な山々も楽しむことができた。

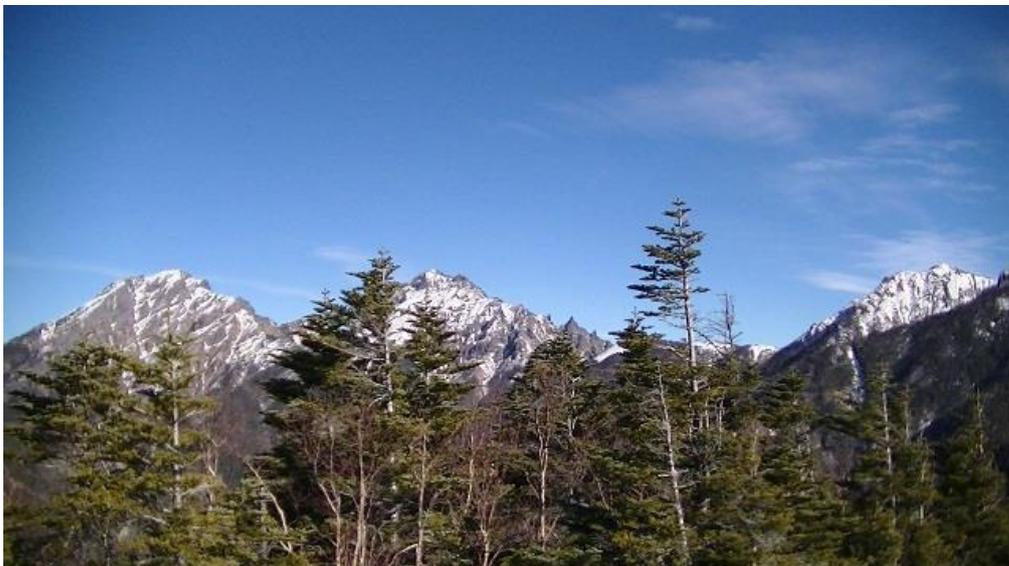


(西岳山頂より遠くに南アルプス)



(編笠山と富士山)

昼食は、年末に食べ損ねたそば。お湯が沸くまで景色を堪能し、温かいおそばで心も体もホクホク。



(西岳山頂より赤岳方面の山々)

当初は編笠岳も経由して下山しようかと考えていたのだが、今回は信濃境駅にカメラを取りに行くと言う予定外のスケジュールになってしまったため、時間の関係でこのまま下山することに…。時間があればゆっくり山頂で過ごしたかったのだが…。

13時30分 後ろ髪惹かれながら早々に山頂を後にする。

下りは残雪地帯注意しながら下山。夫が一度滑って転倒した。登りよりも慎重に！！

14時45分 不動清水到着

15時10分 登山口到着

ここからスキー場まで歩きスキー場からタクシーを呼ぶ。

信濃境駅にて忘れ物のカメラを受け取る。本日の任務を全て無事終えた気分。

教訓 タクシーの所在は事前に調べ、カメラケースはザックに最初から装着せよ！

今回改めて学びました…。

10時00分 富士見高原ゴルフ場登山口出発

10時30分 不動清水到着

12時40分 西岳山頂到着

13時30分 西岳山頂出発

14時45分 不動清水到着

15時10分 富士見高原ゴルフ場登山口到着

文責:松田留美 同行者 松田次郎

今回の山行で活躍してくれた便利アイテム。他社には無いアイデアステッキです。

たよれるニッポン3段ピックステッキ(S10)

ヘッドはクロモリ鋼、焼き入れ済みのピッケル形状。ただしピッケルではなく、あくまでもステッキです。



カラー(2色)・ワイン 最短 532mm×最長 1007mm重量 325g

……シルバー 最短 499mm×最長 965mm 重量 320g

(バスケット大、小、ピックカバー、石突プロテクター付)

税込価格:¥12,960 (本体価格¥12,000)

3段ピックステッキにはバスケット大が取り付けられます。(直径96φ、押込式)

バスケット大をつけるとステッキが雪にもぐらずに行動できます。